

自分と大切な人の命を守りましょう! 「3密」(密集、密接、密閉)を避けて、うがい、手洗いを忘れずに!



たけだまさみつ 県議会レポート

“ふるさとちば”のための政策推進を



発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

知事政策

「東京依存ではない 千葉経済圏の確立」について



知事に質問する武田議員

大きな変革を県経済の活力に

流山市選出で4期目の武田正光「たけだまさみつ」県議は、活発な議会活動を展開し、9月定例議会でも一般質問に登壇しました。知事の唱える県内経済活性化策や「(仮称)三郷流山橋」「東葛の森特別支援学校」児童虐待防止対策、多胎妊産婦支援そしてオンライン研修会普及について訴えました。特集します。

官民の英知を結集

武田議員 熊谷新 知事の選挙時の県政ビジョンとして知事就任後の予算説明資料や総合計画骨子案にたびたび出てくる「東京依存ではない千葉経済圏の確立」ですが、知事を絞って力強く推進すべきテーマと考えます。しかしながら、現時点では構想は独創性具

熊谷知事 この構想は、

どのように考え、どう進めていくのか。 しっかりと腰を据えて臨まなければならぬテーマです。感染症による生活様式の変化やデジタル化の進展、脱炭素社会の実現への取組など、大きな変革を県経済の活力としていくことが重要である。

幅広く意見を伺いながら検討

策定を検討すべきと考えるかどうか。 高橋商工労働部長 生活様式の変化や技術革新といった新しく大きな動きを、検討を深めた。

(仮称)三郷流山橋について

武田議員 (仮称)三郷流山橋を含む県道、越谷流山線、バイパスの進捗状況はどうか。 池口県土整備部長 (仮称)三郷流山橋を含むバイパスの整備を、埼玉県及び埼玉県道路公社と共同で進めます。

橋梁下部工は、全25基中18基が完成し、現在、残る7基の工事を進行中。上部工も順次工事を進めます。 埼玉県と連携し、令和4年度の完成を目指します。

「要望」三郷流山橋について 質問は今回で初当選後23回目。令和4年度の確実な完成に向けて、引



(仮称)三郷流山橋工事現場にて

たけだ正光県議 プロフィール	
経 歴	
・S44	8月生まれ
・S57	流山市立八木南小卒業
・S60	流山市立八木中卒業
・S63	専修大学松戸高校卒業
・H4	中央大学商学部卒業 公認会計士
・H19	千葉県議会議員選挙初当選
・H23	2期目当選 県土整備常任委員会委員長
・H25.26	環境生活警察常任委員会委員長
・H27	3期目当選
・H31	4期目当選
・R2	議会運営委員会 副委員長
・R3	監査委員に就任
現 職	
自民党千葉県連青年局 相談役	
児童虐待防止対策プロジェクトチーム座長	

ドローン映像を たけだ正光チャンネルに アップしております。



ドローン映像

東葛の森特別支援学校について

生徒数の増加による過密状況への対応

開校に向けた準備状況

武田議員 流山市には県立特別支援学校流山高等学園が平成9年度に開校し、以降多くの卒業生を輩出してきましたが、令和4年度同校の第二キャンパス敷地内に、県立東葛の森特別支援学校が新設される予定です。

これは、過密状況である柏特別支援学校の高等部を分離して設置するもので、校舎を新設する県立特別支援学校の開校は、実に25年ぶりであるとのこと。柏特別支援学校については、近年の人口急増から



コロナ対策をした壇上に立つ武田議員

教育環境の改善内容

武田議員 2点目として、柏特別支援学校の教育環境は、高等部分離によりどのように改善されるのか、

富塚教育長 現在、柏特別支援学校では、小中高等部合わせて240名が在籍している。来年度から約70名の高等部が東葛の森特別支援学校に移ることになる。

これにより、同校の学校施設を小・中学部の児童生徒だけで使え、例えば、音楽の授業を、すべて音楽室で実施することで、合唱や合奏などの学習に幅を持たせることが期待できる。

また、全校行事もゆとりをもった実施が可能となり、様々な場面で改善が図られる。

要望

この東葛の森特別支援学校を、障害のある子供たちにとって学びやすく、地域の方々にも親しまれる学校にしたい。

児童虐待防止対策について

武田議員 児童虐待は増加の一途を辿っており、県では松戸市と印西市に児童相談所を2か所増設すると公表。船橋市と柏市でも、新規開設を表明。

「自民党児童虐待防止対策プロジェクトチーム」を発足（現在武田が座長）、県外自治体の訪問、県内の状況把握、さらには、里親会との意見交換などを実施。平成28年に千葉県子どもを虐待から守る条例を成立させた。体制強化のために

熊谷知事 職員の確保のため、採用要件の拡大等に対応。結果、この2年間で1,032名増員（平成31年4月4,255名→令和3年4月5,777名）



政務調査会にて積極的に発言

はソフト面の充実、中でも人材の確保と定着が重要。そこで伺います。児童相談所の職員の確保、定着について、取組を強化し、更なる推進を図るべきと考えるが、

多胎妊娠婦等に対する支援について

武田議員 多胎妊娠は、妊娠期の母体への負担が大

きく、出産できる病院の限定等、多くのリスクがあり、育児不安も加わり、身体的、精神的な負担が大きい。

流山では、多胎家庭向けの育児サークルが、同じ悩みをもつ方々の交流会を開催。国も、同市町村事業に対する助成事業を開始。そこで伺います。

県内市町村における多胎妊娠婦等に対する支援の取組状況はどうか。また、県はどのように支援しているのか。

オンラインを活用した研修会の実施

武田議員 新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、オンライン講座が急速に普及している。移動の時間や費用がなく、研修会等に参加し易くなるというメリットもある。積極的にオンライン化を進めるべきと考えます。

そこで伺います。

新型コロナウイルスの感染防止や利便性確保のため、県民向けの研修会や講座などは、オンラインでの実施を推進すべきと考えるがどうか。

石川総務部長 令和2年度、オンライン研修会等を約160件開催している。感染防止と参加人数拡大の両面で大きな効果が認められている。

今年度、Web会議システムのライセンスを8から50に拡充した。周知と活用を努力する。

●流山市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

〒270-0163 流山市南流山4-1-8-1105
TEL.04-7159-0518 FAX.050-3588-8698

たけだ正光 県議事務所

ホームページ たけだ正光 検索

<https://www.takeda-hashiru.com>

加瀬健康福祉部長 多胎の妊娠・出産は、心身の負担が大、多胎妊娠婦への支援は重要。

全市町村で保健師による指導相談を実施。交流会、サポートチーム派遣、健康診査助成等、計6市が実施中。これに携わる専門職の役割など研修会を開催。

今後も、より多くの市町村において適切な支援が実施されるよう努力する。